



GLは「零」ではない。

ゆえに現代都市が手にした

新しい土地性をそのまま表出させる。

情報と活動が溢れる渋谷にて

歩行者が解き放たれた未来に

ヴァナキュラリズムを刷新する。

渋谷ノ原生林

渋谷の未来

舞台は車道を必要としなくなった未来の渋谷スクランブル交差点。
自動運転技術による交通網の合理化、車離れの傾向、在宅環境の発展により、スクランブル交差点は歩行者のための広場となった。
その時、スクランブル交差点はただ通り過ぎるだけの土地となってしまうのか？



原生林都市

一度、渋谷が手にした土地性を信頼してみる。
広告のひしめき合い、人々の個性のぶつかり合いが許容された渋谷は、独特で人工的な生態系を持っている。
もはやそれは人間による制御を超越し、新型の自然を織りなした。

ヴァナキュラーの再解釈

広告を調和させ、個性を強調する建築。それは、渋谷の代表地としてふさわしく、渋谷の自然に根差したヴァナキュラーな空間を形作るだろう。



広告を眺める



広告を育てる



個性が共鳴する



人の流れが削るように

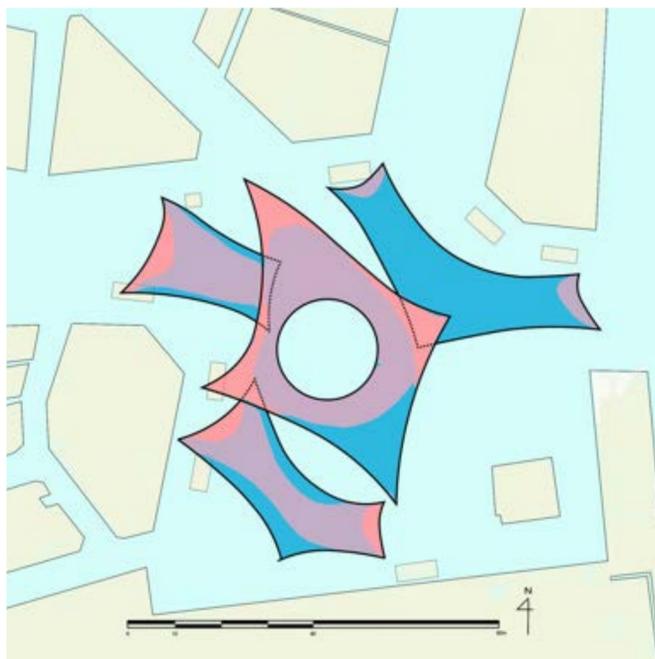
渋谷に倣う

渋谷の社会、形態に倣い形をつくる。
この建築が行き着く先は、唯一無二の都市の確立であり、かりそめの緑に埋もれない、永続のかたちである。それは渋谷にとって自然で、正しい秩序があり、居心地が良いものとなるだろう。

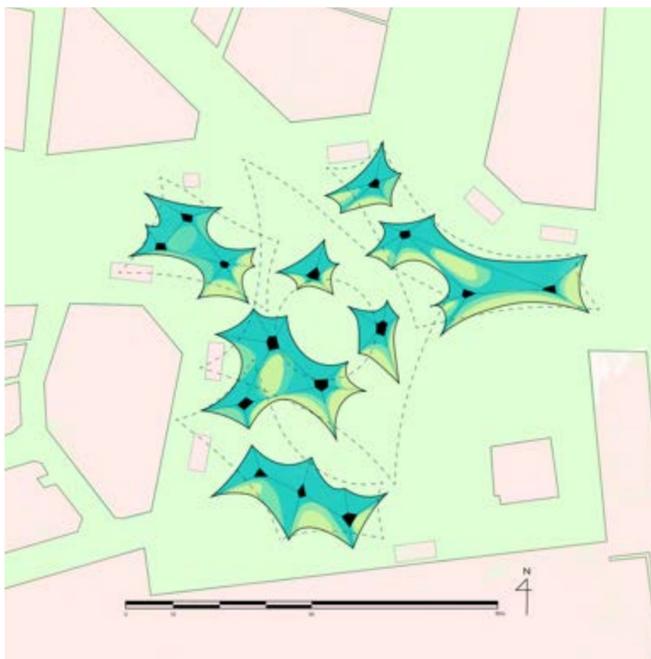


ビル広告の植生に倣う

手作業による有機的な形態へ



屋根平面



柱と根本起伏の平面

ハチ公前からの立面

